

【第63回国民体育大会ウエイトリフティング競技会】 大分県選手の活躍のようす



▲衛藤選手のスナッチの試技



▲武田選手のスナッチの試技

最終日となったこの日は、地元期待の武田雄大選手(国東高校教諭)が出場。超満員となったアストホールで国東高校の生徒など地元の大声援を受け、スナッチが142キロで5位、C&Jジャークでは3回目の試技で181キロを挙げ堂々の3位入賞を果たしました。

また、94kg級に出場した衛藤靖弘選手(明治大学)も、スナッチで134キロを挙げ8位入賞を果たしました。

ウエイトリフティング競技3日目【10月6日】
第1会場(アストホール)成年男子94・105kg級



▲表彰式のようす



▲超満員となった観客席



▲C&Jジャーク競技の熱戦を御覧になる高円宮妃殿下



▲市民の出迎えにお言葉をかける高円宮妃殿下

高円宮妃殿下のお成り
第1会場(アストホール)成年男子105kg級



▲総合表彰式のようす

総合表彰式【10月6日】アストホール
4年連続での総合優勝を果たした沖縄県チームに、櫻井勝利(社)日本ウエイトリフティング協会副会長から大会会長トロフィーが授与され、3日間にわたる競技会は終了しました。